

高山市議会「文教産業委員会」

金沢市教育委員会「新たな3学期制」についての調査



調査日：平成 29 年 1 月 20 日

参加者：◎今井武男、○伊東寿充

山腰恵一、倉田博之、上嶋希代子、

木本新一、中田清介

中田清介

1. 文教産業委員会が送付した今回の調査における質問事項。

石川県金沢市 教育委員会担当者様

現在、本市は3学期制を実施していますが、教育委員会より平成29年度から、2学期制に移行したい旨の協議を持ちかけられています。

議会（文教産業委員会）としては、教育委員会側の説明の検証など、自らも調査したうえで、議会としての考えを示していきたいと考えています。

そのため、この調査の1つとして、貴市の先進的取り組みについてご教授いただきたいと考えており、現段階における質問事項をお送りさせていただきますので、ご回答賜りますようお願いいたします。

なお、今後の委員会にて、ほかに質問事項が出された場合には、再度FAXさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

【小中学校の学期の見直しについて】

1. 学期の見直しの経緯について

- ① 3学期制から2学期制へ移行された経緯について
- ② 2学期制から新たな3学期制へ移行された経緯について

2. 課題の把握と解決に向けた取り組みの検討について

- ① 2回の学期の見直しを検討されるにあたり、現状分析をどのように行われたのか
- ② 学期の見直しを解決策と判断された理由は
- ③ 課題の解決に向けて、学期の見直し以外の方法は検討されたのか。
(土曜授業の実施、長期休暇の見直し、少人数学級等)

3. 学校関係者等への説明、意見聴取等について

- ① 下記の学校関係者等への説明、意見聴取はどのように進められたのか
 - ・ 学校関係者（教師等）
 - ・ 保護者
 - ・ 地域
 - ・ 議会
- ② 意見聴取の結果を、見直しの取り組みにどのように反映されたのか

4. 学期の見直しによって変更された具体的な内容について

- ① 長期休暇前の対応、懇談の機会や場面、授業数、通知表やテスト等の評価、学校行事、給食等について

5. 学期の見直しを実施されるにあたり、どのような点に特に配慮（注意）されたのか。

1.研修：当日はまず金沢市の「学校教育金沢モデル」についてその概要を示される中で、2学期制の導入、3学期制への回帰（平成26年度～）について解説を受けた。

○これまでの経緯

- ・平成16年度～：学校教育金沢モデルを策定
 - ① 「世界都市金沢」小中一貫英語教育
 - ② 学習指導基準金沢スタンダード
 - ③ 学校2学期制
- ・平成21年度～：第2次学校教育金沢モデル策定
 - ① 金沢「絆」教育
 - ② 「世界都市金沢」小中一貫英語教育
 - ③ 学習指導基準金沢スタンダード
 - ④ 学校2学期制

○学校2学期制について：平成16年年度～

・目的

一つの学期の期間が長くなる中で、授業や学校行事の在り方などについて創意工夫しながら、一人一人の実態に応じて、丁寧な指導と評価を行い、子どもたちが確かな学力を身につけることを目指す。

・2学期制導入の経緯

H12：金沢市21世紀教育懇話会の提言

「学ぶ楽しさが実感できる授業の充実のために、ゆとりある学習期間の設定が必要である」

H14：2学期制モデル校での試行（2年間）

明成小、富樫小、高岡中、鳴和中

H15：モデル校に加え、小12校、中11校で試行

H16：全市一斉に2学期制を実施

・期待した効果

① 授業が替わる

●授業が充実します

- ・繰り返し指導等P一人一人を大切にした指導
- ・評価をもとにした丁寧な指導
- ・子どもたちの実態に応じた発展的、補充的な学習

●学習評価が充実します

- ・きめ細かな評価により、子どものよさや可能性を評価

●学習状況が丁寧に伝えられます。

- ・わかりやすく、やる気の出る通知表の作成
- ・通知表の他に学習状況を伝える方法の工夫

② 生活のリズムが替わる

●子供と教師の触れ合う時間が増えます

- ・時間割等の見直しによる触れ合う時間の増加
- ・長期休業を迎える7月、12月の指導助言が充実

●落ち着いて学習できる期間が確保されます

- ・始業式を2日遅らせ、十分な体制で1年をスタート
- ・7月、12月が落ち着いて学習できる期間に
- ・1月から3月が後期の後半となり落ち着いた学習
- ・授業時数の十分な確保
- 学校行事が見直されます
 - ・2学期制に合う行事の実施時期の見直し
 - ・行事の目的の計画かと内容の見直し

③ 長期休業が替わります

- 長期休業日が変わります
 - ・学期途中に位置づく長期休業日においても、学習意欲がを供養に工夫
 - ・7月に夏季休業中に取り組む課題について丁寧な指導
 - ・サマースクールでの体験的、補足的、発展的な学習
 - ・休業中に個人面談、家庭訪問等の実施
 - ・教科や総合的学習の課題意識が継続するように、長期休業日に相談日程を設定

等を解説していただいた。ここまでの説明の中印象的だった事は、①、②、③に述べられている効果については、あくまで「**当初期待された事項**」であった。と付け加えられ、**確かな学力の確保を目指して新たな3学期制導入へ政策を転換した**と述べられたことでした。

期待するところは多かったが、見直すべき点がはっきりと浮かび上がってきて、その対応を3学期制に戻すことによって改善するという意思を確定されたという事のようにです。

○学びのステップを大切にした新たな3学期制について

- ・学校2学期制の成果と課題
 - 成果
 - ・授業時数を確保する教師の意識が高まり、時数を確保してきた
 - ・学習と行事等とのバランスを考慮した特色ある教育糧を編成してきた
 - ・長期休業を学習期間として有効に活用してきた
 - 課題：児童生徒が新たな課題や目標を明確に持って次の学期や学年に臨むために
 - ・児童性や保護者への情報提供する評価のスパンがやや長い
 - ・3日間では学期の切り替え意識が持ちにくい

こうした課題を克服し、「より一層の学力向上を目指す」為に、学びのステップを大切にした**新3学期制**へと転換したと説明を受けました。

- ・教師が学びのステップを意識した指導にあたる
 - ・学期に対する意識、長期休業に対する意識
- をこれまでとは変え、学習面、生活指導面で生徒と向き合うことを述べています。
- ・2学期制で実践してきた成果は継承します
 - ・10月の教育活動が充実します。
 - ・通知表が替わります
 - ・学期の区切りが変わります

として、金沢方学校教育モデルの中で「何を学ぶか」「どのように学ぶか」として、「金沢型学

習プログラム」と「金沢型学習スタイル」、学びの土台となる「金沢型小中一貫教育」を打ち出しています。金沢市の研修資料は別に添付しておきます。

2. 考察

金沢市の事例については、私たちもそれなりに資料で事前調査も済ませていることもあり、高山市の議員からの質問に答えて頂く時間を多くとり、私たちが疑問に思っている高山市教育委員会の見解と、金沢市教育委員会の見解の相違についてその内容を確認することができました。

金沢市では平成 27 年に金沢型学校教育モデルを策定し、平成 28 年 4 月からそれに沿った教育をスタートさせています。その内容は金沢市教育振興基本計画に掲げた「目指すべき金沢の子ども像」に向けて、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を示しています。学びのステップを大切にし、学力向上を目指す新 3 学期制を導入した上での教育方針の策定です。

もう一つ、金沢市は 3 学期制に戻すにあたり、平成 24 年に「金沢市小中学校学期制検討委員会」を立ち上げ、平成 25 年に「**金沢市にふさわしい学期制のあり方**」を政策提言していますが、その時検討委員会は、意識調査を実施して小中学校長 80 名、教員 2000 名、保護者 2400 名からアンケート調査を実施しています。多くの人の意見を丁寧に拾っていく、真摯な姿勢が見えてきます。

2 学期制の検証を主として始めた検討委員会の設置から、2 年間をかけて多くの人の意見を聞き、周到な準備期間を経て平成 26 年 4 月より新 3 学期制を導入した姿が伺えます。

翻って高山市は平成 28 年 9 月 26 日に校長会が 29 年からの 2 学期制への移行を教育長に要望してから、わずか 2 か月で教育委員会の意思決定をし、29 年からの導入を即日文書で保護者に通知したやり方は、金沢市の事例と比べだれが見ても大きな落差があります。子供の目線に立った学びの思考回路が整ったやり方とは言えないのではないのでしょうか。

金沢型学校教育モデル

新しい金沢の教育が始まります！



平成28年

4月から

金沢市教育委員会

金沢型学校教育モデルとは…

金沢市では、平成27年1月に「金沢市学校教育振興基本計画」を策定しました。この計画の基本理念やめざすべき金沢の子ども像の実現に向けて、取り組むべき施策の考え方を重点化・焦点化し、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進していくことが大切であると考え、平成27年7月に新たな学校教育モデルを構築し、高い教育水準の確立をめざすこととしました。

金沢型学校教育モデルは、子ども達が何を学ぶかという内容として「金沢型学習プログラム」(プログラム)、どのように学ぶかという方法として「金沢型学習スタイル」、それらを支える学びの土台として「金沢型小中一貫教育」の3つの要素で構成されます。

金沢型学校教育モデルに基づく教育活動は、平成28年4月からスタートします。



子ども達の学ぶ内容を示した

金沢型学習プログラム

小・中学校において基準となる学習内容を明確にすることにより、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進します。

金沢ベーシックカリキュラム

「金沢ベーシックカリキュラム」は、全小・中学校の基準となる知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程です。各教科の教育課程に加え、道徳教育、人権教育、健康教育等の年間指導計画例も示します。

各学校においては、「金沢ベーシックカリキュラム」を基準として、子ども達の実態や地域の特色等を踏まえ、これに各学校の特色ある学習内容を加え、学校独自の教育課程を編成します。

各教科の教育課程



金沢ふるさと学習

「金沢ふるさと学習」は、金沢のもつ伝統や文化、自然、歴史、食などの多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広めることを通じて、金沢のまちに愛着と誇りを持ち、まちづくりの担い手を育むことをめざす学習です。これまで「金沢「学びタイム」」として実施してきた内容を、新たな都市像「世界の交流拠点都市金沢」をめざして「キャリア教育、持続可能な開発のための教育」の視点も取り入れながら策定しました。

●学年テーマ一覧

小学校	1年	金沢に伝わる遊び
	2年	金沢に伝わる民話
	3年	人がつながるまち金沢
	4年	伝統が息づくまち金沢
	5年	環境にやさしいまち金沢
	6年	未来に向かうまち金沢
中学校	1年	金沢の歴史と伝統
	2年	金沢のものとづくりと景観
	3年	世界の交流拠点都市金沢をめざして これからの金沢のまちづくり

金沢「絆」活動

金沢「絆」会議

市立中学校生徒会代表生徒が一堂に会し、「金沢子どもかがやき宣言」に基づいたテーマについて、自分達にできる取組を話し合います。会議には、小学校代表児童も参加します。



金沢「絆」プロジェクト

「金沢「絆」会議」で決まったことをもとに、全ての小・中学校において、自分達にできる取組を具体化し、児童会・生徒会が中心となつて主体的な活動を展開します。



金沢「絆」の日

7月28日を「金沢「絆」の日」とし、児童会・生徒会が中心となり、保護者・地域とも連携しながら、人々とのつながりを大切に活動を実施します。

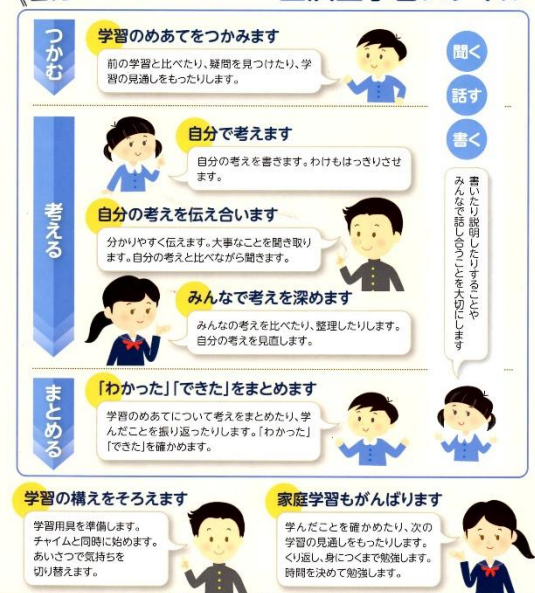


子ども達の学ぶ方法を示した

金沢型学習スタイル

小・中学校において基本となる学習方法や指導方法を明確にすることにより、子ども達に必要な資質・能力を育成します。

「自分で みんなで 考える」金沢型学習スタイル



・すすんで学び、考えます ・きまりや約束を守ります ・思いやりの心を大切にします
「金沢子どもかがやき宣言」より

子ども達の「学びの土台」となる

金沢型小中一貫教育

小中連携をさらに充実・発展させ、9年間を見通した連続性のある教育活動を展開することにより、子ども達の「学び」と「育ち」をつなげます。

全ての中学校区において行う 共通の取組

基本計画の作成

推進体制の構築

校区の実態や子ども達の実態に応じた小中一貫教育を推進するため、全教職員による推進体制を構築します。



中学生による小学生への本の読み聞かせ（児童生徒の交流）

児童生徒の交流

小学生が中学生に憧れや親近感を持ち、中学生が小学生に頼られることで自己有用感を高めることができるような交流活動を実施します。



中学校の授業を小・中学校の教員が参観（教員相互の授業参観）

教員相互の授業参観

中学校区内の小・中学校が相互に授業を参観する機会を計画的に設定し、それぞれのよさを生かした授業改善を推進します。

学習の推進を期した教育課程

小中学校の教育課程には「中学校との関連」を、中学校の教育課程には「小学校との関連」を明記した教育課程を作成します。



小中一貫教育の推進図で中学校区の取組を掲載（情報発信）



全ての中学校区で基本計画を作成し、5つの取組を行います。



それぞれの中学校区において行う 特色ある取組



私の校区では、防災活動や演劇発表会で、小・中学校の子ども達が交流しています。



私の校区では、ノーテレビ・ノーゲームデーや家庭学習の取組を進めています。



各中学校区の子ども達の実態や地域の特色等を踏まえた取組を進めます。

「金沢型小中一貫教育」を学びの土台として位置づけ、各学校が小中一貫教育の推進体制を強化することによって、金沢型学校教育モデルに基づく教育活動を効果的に進めることができます。



学びのステップを大切にした 新たな3学期制を実施します



平成26年

4月

金沢市教育委員会